集まった人たち　いまおかしんじ監督　2013 年／62 分

とにかくセックスがしたい！だけどうまくいかない！老いも若きも男も女も右往左往！　世界を脱力させ続ける、いまおかワールド・フルスロットル！！

何やっていいか分からず、まず“ねるとん”やって、カップル作って、エチュードやって、芝居見て、そうやってる内に、何となく“セックスしたいけどなかなかできない人たち”の話をやったらいいんじゃないかと思って、一日でシナリオ書いて、その場しのぎで撮影しました。歩道橋でセックスするシーンを撮影してたら警察が来て、ビックリした。公然ワイセツだと。うるせえ！バカ！（いまおかしんじ）

恋の渦　大根　仁監督　2013 年／140 分

超絶劇団ポツドールの三浦大輔、原作・脚本「恋の渦」の映画化に、大根仁監督が「モテキ」以降、初の長編作品として挑む。これはもう“事件”だ！！

「現場は地獄になる。だが地獄からしか作品は生まれない」久々にこの言葉を思い出しました。初めての自主映画、2 時間 20 分を4日で撮影、限りなくゼロに近い制作費、撮影前日に役者が逃亡、山本プロデューサーの恫喝…だがしかし、間違いなく面白い作品が出来ました。ご期待ください！！（大根仁）

海辺の町で　廣木　隆一監督　2013 年／64 分

福島出身の廣木隆一監督が、同じく福島出身の撮影：鍋島淳裕と共に 福島ロケを敢行。様々な人々が交差する海辺の町を舞台に綴られた映像詩。この新鮮な映画力、必見！

全員が出るアルトマンのような映画にしたかった。全員を福島に連れて行きたかった。津波から3年目のいわきを見せたかった。皆がどう感じ、演じるか見たかった。役者と言うよりも一個人的な人間として感じて欲しかった。そして、自分もどう感じるか、撮影して見たかった。彼らの中に俺の中に吹き付けるような冬の風と雪と海と雨と夕陽に試されてるような不思議な感覚と静かな感動があるはずだと信じたい（廣木隆一）

8/17（土）	8/18（日）	8/19（月）	8/20（火）	8/21（水）	8/22（木）	8/23（金）
18:20～19:50 ポッポー町の人々（予告無）鈴木卓爾監督来館！上映後、20:30 までトーク（短編「駄洒落が目に沁みる」上映有り）	18:20～19:50 2.11+この森を通り抜ければ(予告無)	18:20～19:45 胸が痛い+アルクニ物語	18:20～19:50 ありふれたライブテープに Focus +SAWADA	18:20～19:50 サンライズ・サンセット+しば田とながお+タコスな夜(予告無)	18:20～19:50 止まない晴れ+集まった人たち	18:20～19:50 2.11+この森を通り抜ければ(予告無)
	20:10～21:25 海辺の町で	20:10～21:40 サンライズ・サンセット+しば田とながお+タコスな夜(予告無)	20:10～21:50 止まない晴れ+集まった人たち（予告無）	20:10～21:40 ありふれたライブテープに Focus +SAWADA	20:10～21:35 胸が痛い+アルクニ物語	20:10～22:40 恋の渦

※シネマ★インパクト、満を持しての新潟公開です！　シネマ★インパクトは 2013 年も阪本順治、行定勲、タナダユキ等錚々たる監督たちを揃えて疾走中の一大映画プロジェクト！その監督たちの作品も観たい！という方、ぜひ今回の上映に、お友達も誘って足をお運び下さい！そうすれば第二、第三のシネマ★インパクト上映が実現できます！一人でも多くのお客さんにご覧いただけるよう、どうぞ宜しくお願い致します！！

シネ・ウインド会員ならいつでも１０００円！(学生・シニア 800円！)
入会キャンペーン実施中！（今なら、会費のみで手数料無料！　8/31 迄）

新潟伊勢丹向い
万代シテイ第２駐車場1階
TEL 025-243-5530
cine WIND シネ・ウインド

シネマ★インパクトは、ワークショップではない。監督同士がしのぎを削りあう、映画の格闘場だ！

山本政志プロデュースのもと、現在の日本映画界を代表する監督たちと、若き俳優・スタッフたちが結集した実践映画塾、それがシネマ★インパクトだ！　2012 年から 13 年にかけて、13 人の監督のもと、多数の作品が誕生した！本年もなお、新たな監督たちのもと､次々に作品が生まれ続けている･･･。

8/17（土）鈴木卓爾監督来館！

ポッポー町の人々　鈴木卓爾監督　2012 年／86 分

大地震の発生から１年後、ポッポー町の人々を通して、鈴木卓爾監督が新たなフィクションの在り方を問う野心作！

今回の企画を受けた時､「よし群像劇だ」と思った。制作者側が一切キャストを選ばず、自発的に参加した全１３人の俳優と7人の制作志望者と共に、脚本もなく手探りで映画は作られた。物語の人物達が住む架空の町の名前を｢ポッポー町｣と名付けた。ポッポー町は日本中どこにでもあるような町で、この町の時間軸は2011年3月１１日から一年後の未来だ。これは現実の撮影日でもあった。現実の響きを映像と音響に記録しつつ、どこまで我々のフィクションとグルーブが持ち堪え、ファンキーに弾めるか？が試された。（鈴木卓爾）

※特別上映　短編「駄洒落が目に染みる」

２．１１　大森立嗣監督　2012 年／29 分

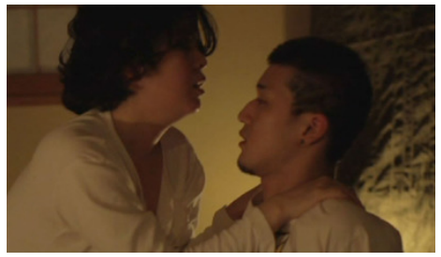
占拠されたビルの中、集団は狂気と破壊と祝祭へと向かう。従来の力強さに自由なタッチが導入された大森立嗣監督の新世界！

放射能が地上に降り注いで故郷を奪った。映画からはフィルムがなくなろうとしている。そんな瓦解しそうな世の中に、ほぼ発狂した'シネマインパクト'が忽然と現れ、僕は映画を作った。誰にも望まれてない映画を作る覚悟を自分自身に、そして参加者に問いました。無力な自分への怒り、壊れかけの社会へ抗い、傷つき、ひねくれ、憎しみ、それでも笑い、もう一度立ち上がる覚悟です。僕は暴動の映画を作りました。シネマインパクトは映画の暴動になればいい。（大森立嗣）

この森を通り抜ければ　瀬々敬久監督　2012 年／50 分

目に見えない放射能に怯え戸惑いながら生き方を探る人々。瀬々敬久監督が描く原発事故後の日本！

始まりは、詩を書き、その朗読で競い合う｢詩のボクシング｣。映画のヘソも彼らの声である、その詩。制作受講者はそこから脚本を書く。すべてが化学反応の場所。今、ここで起こることだけで映画を作る。疲れは尋常でなかった。なにせ皆、こちらのパワーを吸い取ろうと野心満々なのだ。それでいて良いのは各人バラバラなこと。てんでバラバラでまだ何者でもないデタラメな集団で生み出した映画、冗談でなく少し誇りに思っている。（瀬々敬久）



胸が痛い　深作健太監督　2012 年／40 分

どうしようもない女と、どうしようもない男の、どうしようもない愛。深作健太監督が、常識とモラルを撃つ！

参加した受講生達の笑顔と心意気に打たれた。いま邦画ブームを支えるのは TV 局主導の作品ばかり。本当の映画人が消えかけている今、日本映画に新しいムーヴメントを作るのは、自ら現場に飛び込み、表現する、体験参加型の映画なんじゃないだろうか。シネマインパクトに｢希望｣が見えるのは、 そこに集まる受講生の真摯な明るさにある。（深作健太）

アルクニ物語　山本政志監督　2012 年／35 分

非常事態に突入した現在、一室に閉じ込められた８＋１人の５０年間の物語。食と性と暴力とリサイクル、山本政志監督製激毒寓話。

他の全作品で、いずれも偶然か必然か｢地震｣が直接的、間接的に描かれていた。そこで、俺も入口は｢地震｣らしきものにしてみよう、と思った。さらに、低予算の王道”密室モノ”で、閉塞状態の”今”を寓話的に捉えてみる。出演者は、すでに他の監督コースでワークショップを経験済みなので、省略し、いきなり撮影に入った。怒涛の無理難題を克服し、超絶現場を乗り切った演技＋制作コースの面々のエネルギー。それは、確実に作品に練りこまれた。
シネマ☆インパクト、かなりイイ。（山本政志）

サンライズ･サンセット　橋口亮輔監督　2012 年／44 分

クランク・イン前日の映画会社を舞台に、様々な人物が入り乱れ繰り広げられる人間悲喜劇。97 年に上演された橋口監督のオリジナル戯曲を映画化！

崖っぷちの人々の怒涛の群像コメディ！　撮影現場も怒涛のごとく、スタッフ、出演者、必死になって撮り上げた！（橋口亮輔）

しば田とながお　ヤン･イクチュン監督　2012 年／18 分

傷ついた心が癒えない女、それを見守る男。都市をさまよいながら、瑞々しいタッチで描かれる「愛」。『息もできない』で世界を驚嘆させたヤン・イクチュン最新作！！

“しば田とながお”は誰でもが生きていく間に経験できる、日常の小さい物語です。もしかして、あまりにも日常の一断面だけが映画を通して観えるのではないかと気にもなりますが、その小さい断面が一つ一つが繋がってまた大きい一つの全体の人生に帰結されるはずなので、それらを生の大切な一部分として思いたいです。皆さんの人生の中の記憶の断面とこの物語がどのように繋がるのか気になりますね。
（ヤン･イクチュン）

ありふれたライブテープにFocus　山下敦弘監督　2012 年／44 分

フィリピンから母親を捜しにやってきた女を助けながら、その過程をドキュメンタリー映画にしていく学生達。いかがわしくて可笑しい、山下敦弘のフェイクワールド！

限られた時間の中、集ったメンバーの能力を出し切り“新宿”という街でなんとか映画にしてみた。というのが自分の実感です。観る人によって“映画のようなもの”として映るかもしれません。が、そのグレーゾーンこそが自分の最大の武器なのだと思っています。なので山下敦弘にとっての劇場公開最新作です。ひとつよろしくお願いいたします。（山下敦弘）

SAWADA　松江哲明監督　2012 年／35 分

ある映画監督の一周忌に集まった７人の女と１人の男。その一晩を６台のカメラが同時に記録。これはフィクションだが松江哲明自身のドキュメントでもある。初の劇映画！！

初回の自己紹介から異様な雰囲気だった。｢自己開発セミナーかよ｣ってくらいに皆が自分をさらけ出して来た。困った。ふわっとした青春ドキュメンタリーを撮るつもりだったのに。こりゃいかん、予定変更。結果フィクションとはいえ極私的な内容となり身も心もボロボロな二週間だった。ただ受講生の｢映画やってみよっかなー｣なんて幻想はぶち壊せたと思う。で、作品は僕の中で最もへたっぴなモノになった。それが嬉しい。（松江哲明）

タコスな夜　山本政志監督　2012 年／28 分

ミュージシャン兼チンピラのショウ。今日も親分から無理難題を押し付けられた。なんとかなると、軽いノリで夜の街に出て行ったショウだったが…。ダメ人間達の新宿一夜物語。

前回｢アルクニ物語｣は、話を作り込む方向性だったので、今回はいい意味で緩くて軽く、作りこみ過ぎないものをやってみようと思った。作品の冒頭とラストだけを決めて、中間は、受講生から演じたいキャラクターを募り、その役柄を採用し演じてもらったりしながら構成していった。新宿らしい、グワッチャァ～感が出せたはず。（山本政志）

止まない晴れ　熊切和嘉監督　2013 年／32 分

ささやかで平凡な生活を送っていた夫婦。ある日同窓会に参加すると徐々に驚愕の事実が明らかになっていく。日常に潜む狂気を見事にえぐり出した熊切監督最新作！

せっかくこういう機会なので、型にはまらない、むきだしの俳優と出会えたらいいなと思っていました。そしたらいたんです、凄いのが。彼女をいかに追いこみ、ぶっ壊し、どれだけ本当の感情を引き出すことが出来るか？――それだけを考えて一本の映画を作ってみました。撮ってて泣けたのは久しぶりです。（熊切和嘉）